

西神ニュータウン9条の会 20周年企画

## 「9条は世界をつなぐパスポート」

…熱い思いを共有できたつどいとなりました…

5月16日の20周年記念のつどいは、とてもいい集会になりました。オープニングアクトの李亜輝&アジサイ合奏団の演奏が素晴らしく、二胡の音色が心に響きました。今、西神のあちらこちらでファンが誕生しています。

伊藤千尋さんのお話は、新聞記者として、現地取材したことや、退職後も現場に足を運び取材をされているので、わかりやすいお話でした。伊藤さんの話の中で印象に残ったのは、「世界の中で、今、悪いことをしているのは、国連加盟193カ国の中でアメリカ・ロシア・イスラエルと3カ国だけです。」「ニュージーランドは、国を挙げて、非核の国になる努力をしている。大臣が、原子力潜水艦の寄港反対の抗議船に乗る為にくじ引きをして、勝った人が乗った」「コスタリカは、教育費に国家予算の3割を充てている。コスタリカでは、どうすれば平和を創れるのか、子どもの時から一人ひとりが平和を作り上げていく努力をしている」「世界では市民運動が政治を変えている」「日本でも、原発に反対する運動の成果として、原発推進の2倍で成果を上げていること。その一例として、石川県の珠洲での原発立地反対の運動で、住民たちが大切にされたことは、地域の賛成派を排除しない、敵を作らない運動をしていたことなど工夫がたくさんある」伊藤さんの具体的で説得力のあるお話は、80分続き、参加者が聞き入っていました。

今、高市政権の改憲の動きが加速する中で、若い人たちが、新しい運動を始めている。世界の市民運動を見ると、15%の人が動けば、「みんな動いている」と見えるそうです。参加者の感想を紹介すると「とても、よかった。元気が出てきた」「豊富なデータでわかりやすかった」「地熱発電の話がよかった」「憲法第9条を、日本人として誇りに思った」「いい勉強になった」「政治を動かすのは市民運動」「楽しくないと発展しない」「まず、3%の仲間を作ろう」と生き生きした言葉で書かれてありました。ニュージーランドで非核の運動を始めたのは、一人の女性。ベルリンの壁の崩壊のきっかけは、数人の若者たちだという伊藤さんのお話がありました。私たちが平和を作っていく努力を始めよう。一人ひとりが力を持っている。参加者から熱い思いを感じた20周年記念の集会でした。参加数は223名でした。



### 御礼

当日参加された方々から 86,911 円もの多くの募金が寄せられました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

(狩場台 角屋克子)

◆ 6月のつどい 6月21日(日)

西区文化センター2階 第1会議室 14:00~16:00

「言語教育から平和を考える」 講師 三好直美さん(フランス在住)

※詳しくはチラシをご覧ください



**Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!**

**★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条 壊すな!」のアピール行動を続けています**

**★次回は2026年7月1日(水)18:30~19:30**